

## 西武線・多磨駅の改良工事期間が延長

府中市と西武鉄道(株)が協力して進めている、西武多摩川線・多磨駅の駅舎橋上化と、駅の東西を自由に行き来できる通路の設置工事について、当初は7月に予定されていた東京2020大会前の完成を目指して進められてきましたが、昨年の台風19号による地下水の影響から遅れが生じており、令和2年10月以降の完成との報告がありました。

## 学校周辺での喫煙防止に向けて

「歩きタバコ・吸い殻のポイ捨てはやめましょう!」注意喚起サインが市内小中学校のフェンスなど68ヶ所に設置。学校周辺通学路上での歩きタバコ抑止について要望をいただいていたものです。東京都受動喫煙防止条例では屋内・敷地内が対象、また府中市まちな環境美化条例では喫煙禁止路線(主要5駅周辺)のみ対象で、学校周辺の通学路は対象になっていませんでした。



## 市防災ハンドブックが5年ぶり3度目の刷新

今回のリニューアルでは、新たに更新された情報を加えて再編集し、これまでの要望がいくつも反映されています。昨年の水害を受けて風水害編の充実や要配慮者の方への対応、ペット対応、支援制度などについても盛り込まれ、レイアウトも整理されて読みやすくなり、7ページ増量50ページとなりました。4月から全戸配布されますので、日頃の防災活動でもご活用ください。

## 学園通り・六小前の歩道橋がリニューアル

第六小学校前の歩道橋がリニューアルしました。市が設置し、管理する歩道橋はすべて調査が済んでおり、改修計画に基づいて順次進められているところです。歩道橋は、経年劣化による錆や汚れが目立ち、安全性だけでなく安心感や景観上の課題も指摘されていましたが、今回の改修では景観に配慮した色彩で塗装されています。また、ハトの糞害対策として防止ネットもあらためて設置していただきました。



## COVID-19 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルスの感染拡大と経済活動の停滞により、私たちの日常生活への影響は一層深刻なものとなっています。市内では1月31日に武漢からの帰国者を警察大学で受入れた際の近隣住民の反応を受け止め、2月3日には高野律雄市長へ「新型コロナウイルスの感染拡大防止に関する緊急要望」を提出。以降も皆さまからのご要望などを党ルートを通じて政府、東京都へ届けてきました。ご相談・ご要望は下記まで。



電話: 070-5554-0060 / ファックス: 042-362-8851  
メール: nishimura.riku@ko-mail.jp  
ホームページ: nishimura-riku.com / ブログ: nishimura-riku.theblog.me

## 府中市議会議員 西村りく

1968年4月24日 岐阜県土岐市生まれ/91年 筑波大学卒業/20年間セイコーエプソン~日本コカ・コーラでデザインディレクションやマネジメントに従事/2011年より現職(3期10年目) 公明府中 幹事長  
防災士/デザインディレクター・デザイナー/国際ユニバーサルデザイン協議会UD検定・中級(認定番号 第00097号)  
妻、長女と白糸台3丁目在住/府中市長野県人会、押立・車返ささえあい協議会[OKS88]でメンバー募集中!



komei.riku



komeito.riku



@Riku.Nishimura



riku\_nishimura



## 2030年へ、「行動の10年」に。

2020年代の到来。その初年度となる令和2年度の府中市予算を審議する市議会予算特別委員会では、会派を代表して総括質問に立ち、SDGsを軸に4つの視点から質問しました。



府中のまちとくらしをデザインする  
市議会議員  
Member of a municipal assembly  
of Fuchu city from KOMEITO.  
Riku Nishimura

# 西村りく news 028

2020/04/01

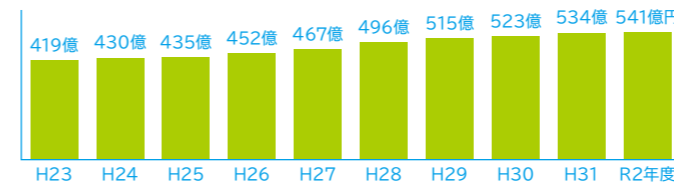
FOOTWORK X TEAMWORK X NETWORK = RIKU NISHIMURA

ver 1.0

令和2年度予算案に対する総括質問から [令和2年第1回府中市議会定例会 予算特別委員会]

## SDGsという羅針盤に基づき、力を合わせて「行動の10年」に

当初予算額の約半分を占める民生費(主に福祉に係る費用)の過去10年間の推移を確認し、社会保障の充実や、対象者の増加を踏まえ、今後2025年・2040年に向けて持続できるよう、想像力を働かせて取り組むべきと指摘しました。



## オリパラを契機とした真の共生社会の実現に向けて

大会の開催を通じ、各分野で様々なレガシーが創出される中で、特に共生社会の実現に向け、障がいを持つ方や日本語が不自由な外国籍の市民、また性的マイノリティの方などに対する偏見の壁を壊し、市民や職員、また子ども達への「心のバリアフリー」の意識啓発、誰もが利用しやすい社会インフラの整備など、具体的な施策にも反映するよう提言しました。



世界を変えるための17の目標

## 防災・減災

当予算では、主に避難所での備蓄品の充実が図られます。質疑では、文化センター圏域の自主防災連絡会の今後の取り組みを確認しつつ、水害による避難勧告の際の避難所周辺の防災組織、住民によるサポートの提案や、避難生活における感染症対策として、避難所備蓄品へのマスクとアルコールの追加、また防災会議への女性登用を要望しました。

## 市民協働

10代の若者に光を当てた施策の狙いについて質問し、広い年代層に協働を浸透させ、また市民活動センタープラッツの運営や市の施策立案に、これまで以上に市民の参加と意見を取り入れるとの市の意向を確認。子ども達や若者の市民協働への関心が、未来の府中を描く力になると確信しました。

## 地球温暖化対策

これまでの取り組みを確認しつつ、今後は温室効果ガスの発生抑制のために、プラスチック類の削減のために、マイバッグ、マイボトルの利用促進とともに、次期環境基本計画へのSDGsの反映、さらに、党として推進してきた食品ロス削減の取り組みをさらに強化するよう要望しました。



# 新年度から始まる事業、広がる事業

府中市令和2年度予算額は、府中史上2番目となる1043億3000万円に

2月25日から3月23日まで28日間に渡り、令和2年第1回府中市議会定例会が開かれ、一般質問、各委員会での議案や陳情審査、また令和元年度補正予算および令和2年度予算の審査等が、新型コロナウイルスへも対応しながら行われ、最終日の本会議において賛成多数により可決、成立しました。

本予算は1043億3000万円と府中史上で2番目に大きな額となり、その主な施策として、東京2020大会の開催や待機児童解消、多磨駅改良、教育環境のICT化、災害対策のほか、これまで公明党をあげて特に力を入れてきた「幼児教育・保育無償化」の通年化や中学校武道場へのエアコン設置などが盛り込まれました。東京2020大会については、予算成立翌日の24日に延期が決定し、今後はそれに合わせた対応が必要となります。



議事を終え、新年度も公明府中5人団結して決意新たに

## 新規事業・レベルアップ事業のポイント

### ◎子育て・教育関連

- 産後ケアとしてデイサービスの実施
- ロタウィルスワクチンの定期予防接種
- 待機児童解消に向けて376名分確保
- 医療的ケア児への支援の連携強化
- 児童発達支援センター設計開始
- ひとり親家庭への相談支援の充実

### ◎健康・医療関連

- 胃がん検診に内視鏡検査導入
- 認知症カフェ運営費の補助
- フレイル予防講習会の実施



※西村りくが、市民のみなさまにお伝えしたいという視点でピックアップしています。

### ◎生活・福祉関連

- 公園遊具など施設の改修
- 住まいに困っている方への住み替え支援
- 中高年のひきこもりにも対応した相談支援
- 65歳以上の免許自主返納者へICカード交付

### ◎防災関連

- 避難所運営に必要な備品の充実
- 小学校体育館(避難所)への発電機設置
- 中学校体育館内武道場へのエアコン設置
- ブロック塀の耐震診断・整備への補助継続
- 防災行政無線再整備に向けた実施設計

議会前の2月11日には第73回府中駅伝競走大会に今年も市議会チームで出場。アンカーとして完走しました☆



## 府中基地跡地留保地 利用計画が完成、国に提出

未来に向けて大きく前進

平成27年に跡地内廃墟の一部撤去が決まったことをきっかけに大きく動き出した府中基地跡地留保地(浅間町1丁目/約14.9ha)。約4年かけて進められてきた利用計画がこのほど策定され、3月26日に国へ提出されました。今後、利用計画の実現に向け長い取組みになりますが、2020年代の幕開けとともに、大きな節目となりました。当計画の詳細は、府中市ホームページから「府中基地跡地留保地利用計画」をご覧ください。また、都道・小金井街道の基地跡地側の歩道部分について、国から敷地一部を借り、新たに市道として幅4m(全長478.5m)の歩道・自転車道の拡幅整備も完了しました。



### ▼令和2年第1回定例会の報告

日本語指導が必要な子どもは、日本語の日常会話が困難で、授業がわからない、学校になじめない、進路や将来が見えないなど問題を抱え、中学卒業後に進学しても、高校になじめず退学を余儀なくされ、社会に適応できず貧困に陥ったり、やがて社会の治安悪化にも繋がるなどの懸念があります。市立小中学校に通う対象となる子どもは現在32人。市立小

中学校以外の子ども達は就学状況を把握できていないことがわかりました。また、転入時に外国籍の子どもがいる家庭に対する就学案内書なども多国語化されていません。市立小中学校に通う対象児童と生徒には、日本語指導助手が6ヶ月、さらに必要な場合は教育センターでの日本語適応指導教室での継続した指導が受けられるほか、国際交流サ

## 日本語の指導が必要な子ども達への支援の充実を

言葉の不自由が、子ども達の自由や希望を奪うことがないよう求めて

ロン主催の外語大生による学習支援ボランティアもあります。こうした指導を通じて日本語を習得し、学校に慣れていく子どももいる一方で、様々な事情によりなかなか馴染めない子どももいます。今回はまず、子ども達の就学先の把握、転入時の就学案内書の多国語化、学校関係者に対する日本語指導アドバイザー(文科省)の活用について要望しました。



### ▼令和元年第3回定例会の成果

## 中高年含めたひきこもり支援が強化 昨年9月の一般質問から新年度の施策に反映

昨年9月議会の一般質問でも取り上げ、要望した「中高年のひきこもり支援の強化」ですが、令和2年度から新たに訪問による相談支援の窓口が設置されることになりました。今年度から、29歳までを児童青少年課で「青年総合相談」、それ以上の方に対しては生活援護課に専門の相談員を常駐し、中高年のひきこもりから就労支援や生活支援などを含めてサポートし、窓口相談だけでなく、ご希望の場合は訪問による相談支援も行います。

これまで、ひきこもりのご相談は受付数から少ないとの報告がされていますが、ニーズはもっとあるはず。相談者にとってわかりやすい窓口のあり方や、事業のPRIにはまだ課題は残されていますが、中高年層に向けて大きな一歩です。



### ▼令和元年第4回定例会の成果

## 双子、三つ子の育児支援が充実 健診や予防接種での移動経費の補助など

双子や三つ子など多胎児育児支援のさらなる充実を求めて、12月議会の一般質問でも取り上げたところでしたが、新年度から東京都として、多胎児を育てる家庭を支援する制度を始めることになりました！3歳未満の多胎児を育てる家庭と多胎妊婦を対象に、健診や予防接種など移動経費の補助や、家事育児サポーターの利用料補助が盛り込まれます。

